



シシオザル号

第145号

発行日：平成28年2月1日

発行者：福田脳神経外科病院

院内情報委員会

(☎0952-29-2223)

診察室から ～脳ドック～

院長：田口 明

「脳ドック」とは「脳の健診」のことで、日本独自の医療システムです。1988年に札幌の病院で始まりました。当初の目的は、脳神経外科疾患の中でも特に恐ろしいくも膜下出血の原因となる脳動脈瘤^{りゅう}を早期に発見することでした。

その結果、脳動脈瘤の発見率は一般受診者で3～5%、家族歴のある人では16%にもものぼるという衝撃的なものでした。現在脳ドックは約400の施設で、脳動脈瘤だけでなく、無症候性脳梗塞^{こうそく}など脳卒中を起こしやすい危険因子を持つ人を発見する目的で行われています。

危険度を高めるものには、高血圧、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病に加え、喫煙、脳梗塞やくも膜下出血などの家族歴が挙げられます。当院では今年までに脳ドックの受診者延べ人数が2300例を超えました。

最近では病気の発見だけでなく、健康チェックや、脳の病気にならないための注意点の確認を目的に利用される方が多くなり、健康志向の強まりを感じます。

脳ドックは自由診療なので、通常の保険診療とは費用もシステムも異なります。

費用は、検査項目が増えれば高くなり、地域によってバラつきがあるようですが、

5万～10万円程度です。値段だけみると、確かに安いとはいえない金額ですが、

病気になってからの治療費や車検費用などと比較して健康の為の投資と考えれば

決して高くないのではないのでしょうか。

当院では約3割の方が、脳に何らかの異常が認められました。

第二回 褥瘡勉強会ありました

～院内で使用している薬剤・被覆材について～

褥瘡対策委員長 O. Y.

実際に創傷や被覆を処置する際には様々な薬剤や被覆材を使用します。毎回十分に創傷を観察し、そして今どんな薬剤が必要なのかを判断する事が必要です。看護師各人でそれぞれの判断基準を持つのでは統一したケアが困難になります。また、薬剤や被覆材の効果を知らずには選択をすることはとても危険です。

discussion!

勉強会では症例をもとにグループワークでディスカッションを行いどんな状態の褥瘡や創傷なのかを話し合い、その上でどんな



薬剤を使用するのか考えながら、グループの代表が発表を行いました。

実際の現場ではそれぞれの判断が求められます。でも判断に迷うときには他のスタッフに確認を行いよりよい選択が出来るようにしています。

今回の勉強会を踏まえて薬剤や被覆材の選択が自信をもってより正しくより適切に出来るようにしていきたいと思えます。



勉強会に参加して

病棟看護師 S. K.

当院にある被服剤の種類とその効果を再確認することが出来ました。実際の事例を用いてのグループワークでは、他スタッフとディスカッションすることで状況の再確認をしながら何度もアセスメントし適切な被覆材の選択・変更のタイミングのポイントを掴むことが出来ました。

今後、学んだことを実践していく中で患者さまに最も適したケアの選択を行っていきけるよう更に理解を深めていきたいと思えました。

今回の勉強会を機にスタッフ全員が理解を深め、お互いに意見交換を行いながら実践し、スキルアップを目指したいと思えます。

インフルエンザに注意しましょう！！ 院内感染対策委員会

風邪が流行する季節になりました。あなたの体調はいかがですか？ 現在、佐賀でもインフルエンザが流行っており、学校等では学級閉鎖も起こっています。まずは、1にも2にも**予防が大切**です。しっかり体調管理をしていきましょう！！特に、免疫力の低い高齢者や幼児は注意しましょう。

インフルエンザとは・・・

インフルエンザウイルスの感染にて起こります。

普通の風邪より急激に発症し、症状も重篤です。

★潜伏期間・・・1～3日程度

★感染経路・・・飛沫感染

★発症・・・急激に起こり38度以上の高熱が出る

★症状・・・悪寒、頭痛、関節痛、倦怠感等の全身症状の他、咳、痰、呼吸困難、腹痛、下痢、等の胃腸症状

★療養期間・・・1週間程度を要する



一般的な予防法

- ・こまめな**うがい**、石鹸を用いて流水での**手洗い**を行う。
- ・インフルエンザワクチンを行う。（11月頃行うのがおすすめ！）
- ・十分な栄養と睡眠をとる。
- ・乾燥を防ぐため、加湿器等で部屋の湿度を**50%～60%**に保つ。
- ・**マスク**をする。人ごみを避ける。
- ・水分を十分摂る。



※体調の異常を感じたら、まずは電話でたずねて、かかりつけ医への早めの受診をお勧めします。

当院では湿度を管理するために各部屋に温度・湿度計を設置しています。

冬場は最適温度平均**23～24℃前後**となっています。

お部屋の温度調節に関しては、スタッフにお声を掛けて下さい。



患者さまのこえ ～厨房編～

今回、厨房に頂いた言葉を載せております。
当院では、患者さまが退院される日のお膳に手書きのメッセージカードとプリン（常食の方）（糖尿病・脂質異常症の方にはくだもの）をお付けしております。

厨房スタッフの皆様へ

入院生活18日間 朝・昼・夕食 三度の食事が
楽しく待ち遠しく感じました。
薄味で上品な味付けでとても美味しかったです。
退院してからでも、足を運んで食べに来たいです。
お馳走様でした。



毎日の食事、ありがとうございました。食事をして、
いろいろ参考になる事がたくさんありました。
今日からの食生活の参考にしていきたいと思います。

栄養相談”受けてみませんか？

高血圧で減塩を心掛けたい・・・
最近体重増加が気になる・・・

栄養相談を受けられた方より、

『いいきっかけになりました。』

『少しの気遣いで減塩できることが参考になりました。』

などのお声をいただいております。

健康の維持、疾病の治癒力の向上のため 食生活の見直しを
考えられている方は、当院のスタッフまでお声かけください。



新ユニフォームのご紹介

今年から、看護職員・検査技師のユニフォームに新しい柄が増えました。

ピンク・グリーン・ブルーの3色です。

優しい色合いで患者様にも好評です。

その日の気分で以前からのユニフォームと
選んで着用しています。

